

広領域連携型基幹研究プロジェクト「異分野融合による総合書物学の拡張的研究」
3ユニット合同シンポジウム

「デジタル延喜式」構築の成果と課題

国立歴史民俗博物館「延喜式のデジタル技術による汎用化」
三輪 仁美

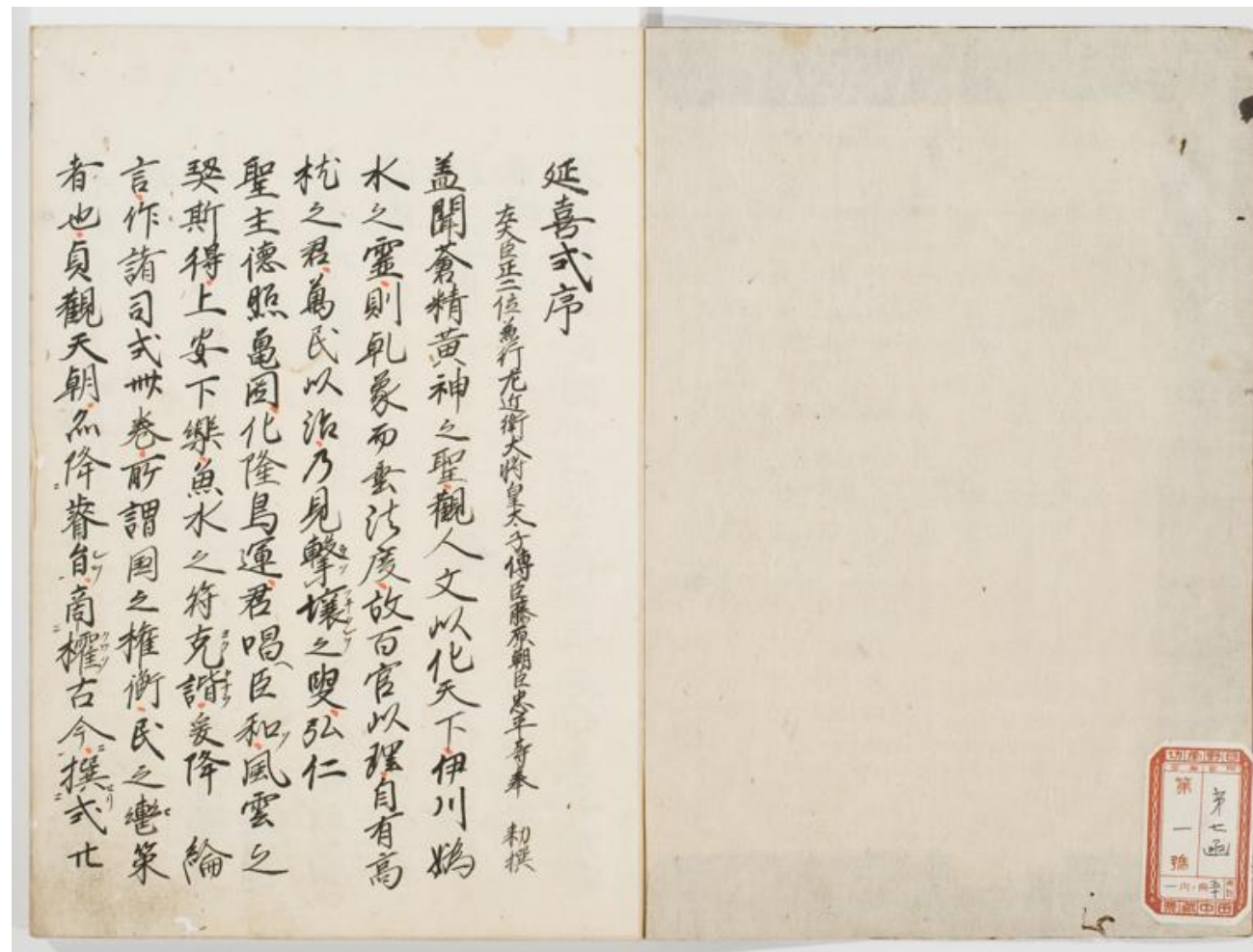
プロジェクトの概要

— 『延喜式』と「デジタル延喜式」 —



『延喜式』とは？

- 日本古代の法制書。
- **延喜5年（905）編纂開始**、**延長5年（927）に完成**。
→修訂を重ねて、**康保4年（967）に施行**。
- 全50巻、条文数約3500条に及ぶ。
- 古代の法制度：律令格式
『延喜式』：**延喜**年間に編纂された「**式**」（律令の施行規則）



国立歴史民俗博物館所蔵土御門家旧蔵『延喜式』

『延喜式』画像の公開「KHIRIN」

Google 歴博 延喜式

すべて 画像 動画 ショッピング 地図 ニュース 書籍 もっと見る ツール

khirin-t
https://khirin-t.rekihaku.ac.jp › engishiki
デジタル延喜式 Engi shiki Database ✓
延喜式の構造化テキストを公開するサイトです。

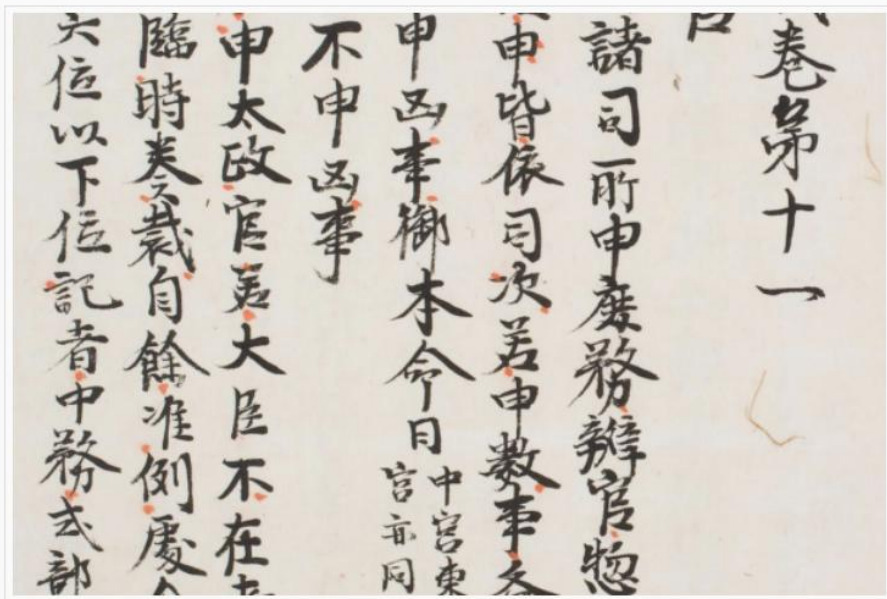
国立歴史民俗博物館
https://khirin-a.rekihaku.ac.jp › database › engishiki
歴博・館蔵土御門家本延喜式 ✓
歴博・館蔵土御門家本延喜式・序・神祇一(四時祭上)・神祇二(四時祭下)・神祇三(臨時祭)・神祇四(伊勢大神宮)・神祇五(齋宮)・神祇六(齋院司)・神祇七(踐祚大嘗祭)。

国文学研究資料館
https://www.nijl.ac.jp › pages › cijproject › rekihaku_a
歴博 - 国立歴史民俗博物館 ✓
10世紀に編纂された『延喜式』は、古代官人の業務マニュアルとでもいうべき行政の施行細則集です。その分量は全50巻、約3540条に及び、官人の職務遂行上の諸規定をはじめ、 ...

Googleで「歴博 延喜式」で検索した結果

ホーム / データベース

歴博・館蔵土御門家本延喜式



<https://khirin-a.rekihaku.ac.jp/database/engishiki>



序・神祇一(四時祭上)

歴博・館蔵土御門家本延喜式 国立歴史民俗博物館 CC BY 4.0



神祇二(四時祭下)

歴博・館蔵土御門家本延喜式 国立歴史民俗博物館 CC BY 4.0



神祇三(臨時祭)

歴博・館蔵土御門家本延喜式 国立歴史民俗博物館 CC BY 4.0



神祇四(伊勢大神宮)

歴博・館蔵土御門家本延喜式 国立歴史民俗博物館 CC BY 4.0



神祇五(齋宮)

歴博・館蔵土御門家本延喜式 国立歴史民俗博物館 CC BY 4.0



神祇六(齋院司)

<https://khirin-a.rekihaku.ac.jp/database/engishiki>

ホーム

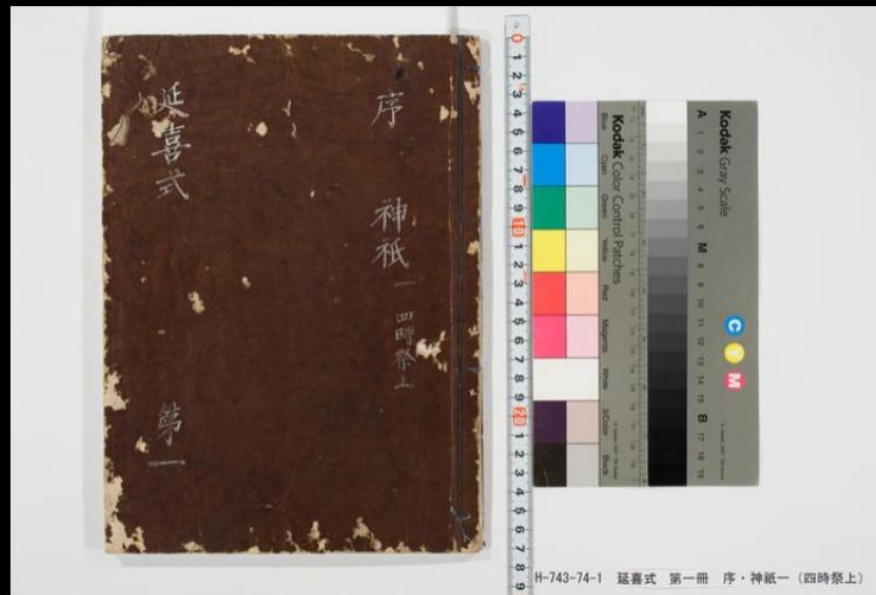
Image 1 of 42 Go



CONTENTS

序・神祇一(四時祭上)

MORE INFORMATION



H-743-74-1 延喜式 第一冊 序・神祇一(四時祭上)

<https://khirin-a.rekihaku.ac.jp/englishiki/h-743-74-1>

歴史関係データベースの現状

- ・ 古典籍の画像公開

東京大学史料編纂所・宮内庁書陵部・国立公文書館・

国立歴史民俗博物館などの機関が所蔵資料の画像をHPにて公開

- ・ テキストデータベース

翻刻・校訂の手間と正確さなどの課題から、多くのデータは流通

していない

校訂文

延喜式卷第三十七
延長五年
十二月二
十六日
外從五位下行左大史
臣阿刀宿祢忠行
從五位上行勘解由次
官兼大外記・紀伊權
介臣伴宿祢久永
從四位上行神祇伯
臣大中臣朝臣安則
大納言正二位兼行民
部卿臣藤原朝臣清貫
左大臣正二位兼行左
近衛大將・皇太子傳
臣藤原朝臣忠平

現代語訳

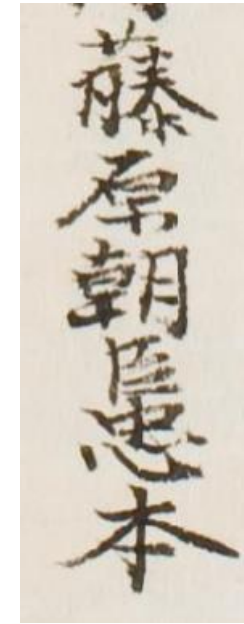
延喜式卷第三十七
延長五年十二月二
十六日外從五位下行左大史阿刀宿祢忠行
從五位上行勘解由次官兼大外記紀伊權介伴宿祢久永
從四位上行神祇伯大中臣朝臣安則
大納言正三位兼行民部卿藤原朝臣清貫
左大臣正二位兼行左近衛大將皇太子傳藤原朝臣忠平

其大宰便附別貢使

延喜式卷第三十七

延長五年十二月二
十六日外從五位下行左大史阿刀宿祢忠行
從五位上行勘解由次官兼大外記紀伊權介伴宿祢久永
從四位上行神祇伯大中臣朝臣安則
大納言正三位兼行民部卿藤原朝臣清貫
左大臣正二位兼行左近衛大將皇太子傳藤原朝臣忠平

H-743-74-37 延喜式 第三七冊 典藥寮



土御門本では「藤原朝臣忠本」
↓
『延喜式』編纂者として知られるのは
藤原忠平
↓
校訂が必要

例：卷37（典藥寮）本奥書

テキストデータベース 「デジタル延喜式」

デジタル延喜式 Engi shiki Database

検索キーワードを入力

マニュアル

デジタル延喜式 Engi shiki Database

試してみる

日本古代の法制書『延喜式』の画像・校訂本文・現代語訳・英訳を公開します。

このサイトについて

データ公開状況

マニュアル

凡例

検索

キーワード検索

<https://khirin-t.rekihaku.ac.jp/engishiki/>

khirin-t.rekihaku.ac.jp/englishiki/search?keyword=米&page=1

デジタル延喜式 Engi shiki Database

米

キーワード: 米 クリア

検索結果: 176

1 / 9 < >

20件 適合度 降順

巻 (15件)

<input type="checkbox"/>	05	39	⊗
<input type="checkbox"/>	09	4	⊗
<input type="checkbox"/>	10	4	⊗
<input type="checkbox"/>	11	3	⊗
<input type="checkbox"/>	14	6	⊗
<input type="checkbox"/>	17	16	⊗
<input type="checkbox"/>	21	7	⊗
<input type="checkbox"/>	22	14	⊗
<input type="checkbox"/>	24	35	⊗
<input type="checkbox"/>	25	1	⊗
<input type="checkbox"/>	29	1	⊗
<input type="checkbox"/>	32	15	⊗
<input type="checkbox"/>	37	5	⊗
<input type="checkbox"/>	39	25	⊗
<input type="checkbox"/>	41	1	⊗

すべて表示 ▶

式 (17件)

<input type="checkbox"/>	05 齋宮	39	⊗
<input type="checkbox"/>	09 神名上	4	⊗
<input type="checkbox"/>	10 神名下	4	⊗

齋宮 16 食法条 項1

式: 05 齋宮 種別: 式

校訂文 ... 五位、〈米二升、酒一... 忌部、〈米二升、酒六... 宮女孺、〈米一升六合、... 宮舍人、〈米同大舍人、... 諸伴部、〈米同宮舍人、... 宮主、〈米食本根、余... 采女、〈米食本根、余... 卜部、〈米食本根、余... 炬小子、〈米一升二合、... 女丁、〈米食本根、...

校訂文

食法
五位、〈米二升、酒一升、東鯉・**隠岐**鯉・烏賊各二両、鯨一両三分、鮭三分之一、海藻二両、塩五夕、醬一合、酢二夕、滓醬一合、) 中臣・忌部、〈米二升、酒六合、鯨三両二分、鮭三分之一、海藻二両、塩四夕、醬三夕、酢二夕、滓醬一合、) 大舍人・内女孺・宮女孺、〈米一升六合、酒・魚・塩類同中臣、) 宮舍人、〈米同大舍人、鮭六分之一、鯨三両二分、塩四夕、滓醬一合、海藻二両、) 諸伴部、〈米同宮舍人、鯨三両二分、塩四夕、海藻二両、滓醬一合、) 内舍人・宮主、〈米食本根、余物同中臣、) 采女、〈米食本根、余物同宮舍人、) 卜部、〈米食本根、余物同伴部、) 戸座・火炬小子、〈米一升二合、余物同伴部、) 今良・女丁、〈米食本根、**醬滓**一合、海藻一両、塩一夕、)
右、計人数、毎月給之、若五位以下常職事者、便以本根充之、

大膳上 1 四祭香料条 項1

式: 32 大膳上 種別: 式

校訂文 ... 口、白米五斗、糯米... 銚一口、白米三斗、糯米... 銚四口、白米二斗、糯米...

例：キーワード検索 検索結果の画面

延喜式ファイル

修正履歴 凡例

校訂文

次へ 9 / 58 前へ

鎮野宮地祭 (後鎮准此、)
五色薄絶各五尺、倭文五尺、調布一段、庸布五段、木綿大一斤、麻二斤、歛五口、米・酒各五升、鯁・堅魚・海藻・雑海菜各五斤、腊・塩各五升、柑・坏各五口、匏二柄、柏廿把、食薦五枚、席一枚、

【5.17 鎮野宮地祭】
(1)

五位、(米二升、酒一升、東鯁・魚・復・海菜各二兩、鮭一兩三分、鮭三分之一、海藻二兩、塩五夕、醬一合、酢二夕、滓醬一合、)中臣・忌部、(米二升、酒六合、鮭三兩二分、鮭三分之一、海藻二兩、塩四夕、醬三夕、酢二夕、滓醬一合、)大舍人・内女・孺・宮女孺、(米一升六合、酒・魚・塩類同中臣、)宮舍人、(米同大舍人、鮭六分之一、鮭三兩二分、塩四夕、滓醬一合、海藻一兩、)諸伴部、(米同宮舍人、鮭三兩二分、塩四夕、海藻二兩、滓醬一合、)内舍人・宮主、(米食本糧、余物同中臣、)采女、(米食本糧、余物同宮舍人、)卜部、(米食本糧、余物同伴部、)戸座・火炬小子、(米一升二合、余物同伴部、)今良・女丁、(米食本糧、醬滓一合、海藻一兩、塩一夕、)

右、計人数、毎月給之、若五位以下帶職事者、便以本糧充之、

現代語訳

当該箇所画像が表示される

修正履歴 凡

校訂文

五色薄綿各五尺、倭文五尺、調布一段、庸布五段、木綿大一斤、麻二斤、鉄五口、米・酒各五升、鯨・堅魚・海藻・雑海菜各五斤、腊・塩各五升、柑・坏各五口、鮑二柄、柏甘把、食薦五枚、席一枚、

鎮野宮地祭（後鎮准此、）
 (1) 【5.17 鎮野宮地祭】
 右、計人数、毎月給之、若五位以下帶職事者、便以本糧充之、

醬一合、内舍人・宮主、米食本糧、余物同中臣、采女、米食本糧、余物同宮舍人、卜部、米食本糧、余物同伴部、戸座・火炬小子、米一升二合、余物同伴部、今良・女丁、米食本糧、醬滓一合、海藻一兩、塩一夕、

三兩分同魚孺夕海六合夕分隠五

校訂文

同大舍人、鯨六分之二、鯨三兩二分、塩四夕、滓醬一合、海藻一兩、諸伴部、米司宮舍人、指

採用 #土本 #条本 段

解説 傍 九冊本傍書「端イ」

解説 傍 京博本傍書「端イ」

解説 段 訳注本「端」に意改。諸本「段」に作る。九冊本・京博本傍書「端イ」。

閉じる

現代語訳

デジタル延喜式 Engi shiki Database 検索キーワードを入力

延喜式ファイル

次へ 5 / 50 前へ

校訂文

狐、(神獸也) 白鹿、(仁鹿也、色如霜雪) 白靈、(白鹿之流、) 兕、(形如牛、蒼黑色、或青色、有一角、重二千斤、) 玄鶴、青鳥、(南海輸之、) 赤鳥、三足鳥、(日之精也、) 赤鷲、赤雀、比目魚、(出於東海、不比不行、) 甘露、(美露也、神靈之精也、凝如脂、其甘如飴、一

三角獸、(瑞獸也、) 白狼、(金精也、) 赤鼯、(神獸也、) 赤熊、赤狡、(其角如牛、音如犬吠、) 赤兔、九尾狐、(神獸也、其形赤色、或白色、音如嬰兒、) 白狐、(岱宗之精也、) 玄

【21-1.2 祥瑞】

現代語訳

三角獸、(瑞獸也、) 白狼、(金精也、) 赤鼯、(神獸也、) 赤熊、赤狡、(其角如牛、音如犬吠、) 赤兔、九尾狐、(神獸也、其形赤色、或白色、音如嬰兒、) 白狐、(岱宗之精也、) 玄

校異は赤字と青字で表示する

例：卷21 (治部省)

デジタル延喜式 Engi shiki Database 検索キーワードを入力

マニュアル

延喜式ファイル

修正履歴 凡例

画像

次へ 1 / 30 前へ

校訂文

現代語訳

正親司

【39-1.1 諸王年満】

【39-1.2 皇代】

【39-1.3 諸王計帳】

【39-1.4 同世同名】

【39-1.5 女王祿】

凡諸王計帳者、令造一通、司加押署、京職判筆一通留司、待年足符、即勘会申省。

凡賜時服王定四百廿九人、待其死關依次補之、但改姓為臣之闕、不補其代、隨即減定額數。

凡諸王計帳者、令造一通、司加押署、京職判筆一通留司、待年足符、即勘会申省。

凡諸王年満十二、毎年十二月、京職移宮内省、省以京職移、即付司令勘会名簿、訖更送省、明年正月待官符到、始預賜時服之例。

皇族の年齢が数えて十二歳に達したら、十二月に京職が宮内省に通知し、宮内省は京職の通知書類を正親司に下して正親司が保管する皇族の台帳と照合させよ。正親司はこの作業が終わったら通知書類を宮内省に送れ。翌年正月に太政官の通達を受領してから、衣替え手当ての支給を開始せよ。

衣替え手当てを支給する皇族の定員は四十九人とし、死亡による欠員が出たら順次補え。ただし臣籍降下による欠員は代わりの者を補うことはせず、ただちに定員を削減せよ。

皇族の台帳は二通作成せよ。正親司の官人が署名し、京職の処理が終わったら、一通は正親司に留め、皇族が衣替え手当ての受給年齢に達する旨の宮内省の通達の受領後、これと台帳とを照合の上で宮内省に報告せよ。

延喜式卷第三十九 正親司

【39-1.1 諸王年満】

凡諸王年満十二、毎年十二月、京職移宮内省、省以京職移、即付司令勘会名簿、訖更送省、明年正月待官符到、始預賜時服之例。

皇族の年齢が数えて十二歳に達したら、十二月に京職が宮内省に通知し、宮内省は京職の通知書類を正親司に下して正親司が保管する皇族の台帳と照合させよ。正親司はこの作業が終わったら通知書類を宮内省に送れ。翌年正月に太政官の通達を受領してから、衣替え手当て

校訂文

現代語訳

英訳

画像

例：卷39（正親司） 校訂文・現代語訳・英訳の切り替え

英訳

Engi shiki , scroll39 (Royal Family Register Office · Royal Meal Office)

Royal Family Register Office

【 39-1.1 】 Age of Royal Recipients for Seasonal Clothing

(1)
Every year if a prince or princess reaches twelve years old , the Capital Office should report that information via a parallel memorandum (i) to the Ministry of the Royal Household in the twelfth month. Then the Ministry should send the memorandum to the Royal Family Register Office to check the list against their existing roster. After finishing all of these procedures, the Royal Family Register Office should return the memorandum to the Ministry. The prince or princess in question will receive seasonal clothing after the Council of State's order is issued in the

現代語訳

延喜式卷第三十九(正親内膳)

正親司

【 39-1.1 諸王年満 】
(1) 皇族の年齢が数えて十二歳に達した時、十二月に京職が宮内省に通知し、宮内省は京職の通知書類を正親司に下して正親司が保管する皇族の台帳と照合させよ。正親司はこの作業が終わったら通知書類を宮内省に送れ。翌年正月に太政官の通達を受領してから、衣替え手当ての支給を開始せよ。

【 39-1.2 衣替 】
(1) 衣替え手当てを支給する皇族の定員は四二九人とし、死亡による欠員が出たら順次補え。ただし臣籍降下による欠員は代わりの者を補うことはせず、ただちに定員を削減せよ。

【 39-1.3 諸王計帳 】
(1) 皇族の台帳は二通作成せよ。正親司の官人が署名し、京職の処理が終わったら、一通は正親司に留め、皇族が衣替え手当ての支給年齢に達する旨の宮内省の通達の受領後、これと台帳とを照合の上で宮内省に報告せよ。

【 39-1.4 同世同名 】

英訳

Engi shiki , scroll39 (Royal Family Register Office · Royal Meal Office)

Royal Family Register Office

【 39-1.1 】 Age of Royal Recipients for Seasonal Clothing

(1)
Every year if a prince or princess reaches twelve years old , the Capital Office should report that information via a parallel memorandum (i) to the Ministry of the Royal Household in the twelfth month. Then the Ministry should send the memorandum to the Royal Family Register Office to check the list against their existing roster. After finishing all of these procedures, the Royal Family Register Office should return the memorandum to the Ministry. The prince or princess in question will receive seasonal clothing after the Council of State's order is issued in the

現代語訳

延喜式卷第三十九(正親内膳)

正親司

【 39-1.1 諸王年満 】
(1) 皇族の年齢が数えて十二歳に達した時、十二月に京職が宮内省に通知し、宮内省は京職の通知書類を正親司に下して正親司が保管する皇族の台帳と照合させよ。正親司はこの作業が終わったら通知書類を宮内省に送れ。翌年正月に太政官の通達を受領してから、衣替え手当ての支給を開始せよ。

【 39-1.2 衣替 】
(1) 衣替え手当てを支給する皇族の定員は四二九人とし、死亡による欠員が出たら順次補え。ただし臣籍降下による欠員は代わりの者を補うことはせず、ただちに定員を削減せよ。

【 39-1.3 諸王計帳 】
(1) 皇族の台帳は二通作成せよ。正親司の官人が署名し、京職の処理が終わったら、一通は正親司に留め、皇族が衣替え手当ての支給年齢に達する旨の宮内省の通達の受領後、これと台帳とを照合の上で宮内省に報告せよ。

【 39-1.4 同世同名 】

In the Law on Personnel of the Yōrō Code, "prince" (王) and "princess" (女王) refer to the monarch's offspring of two through four generations removed.

閉じる

例：卷39（正親司） 英訳に切り替えた画面と英訳注ポップアップ

「デジタル延喜式」の構築

—本文校訂からデータベース公開まで—

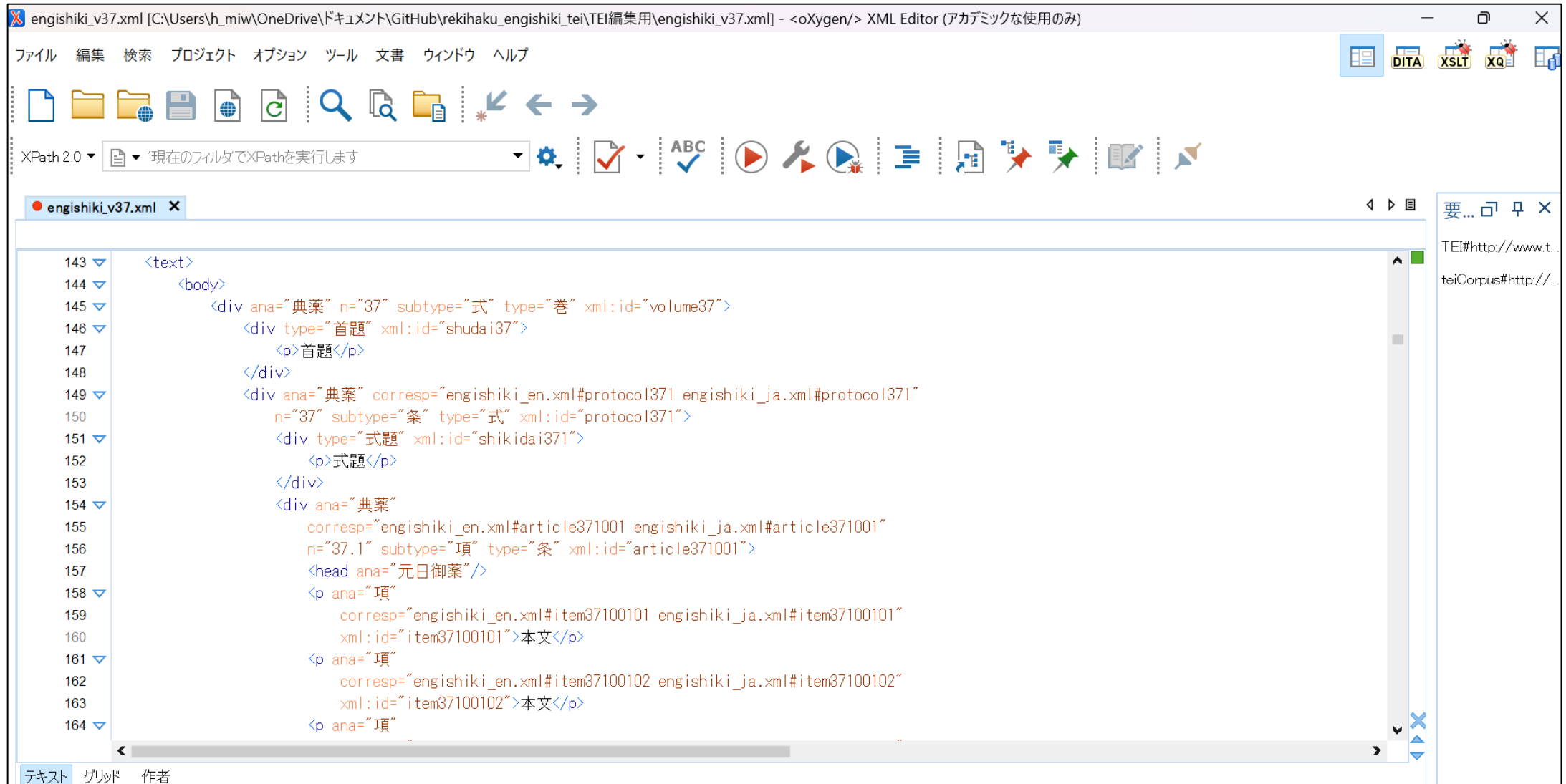


「デジタル延喜式」の構築

- 『延喜式』の本文情報のデジタル化と流通の手法
日本の文献史料は、**国際標準にのっとりたテキストデータ**の流通はなされていない。

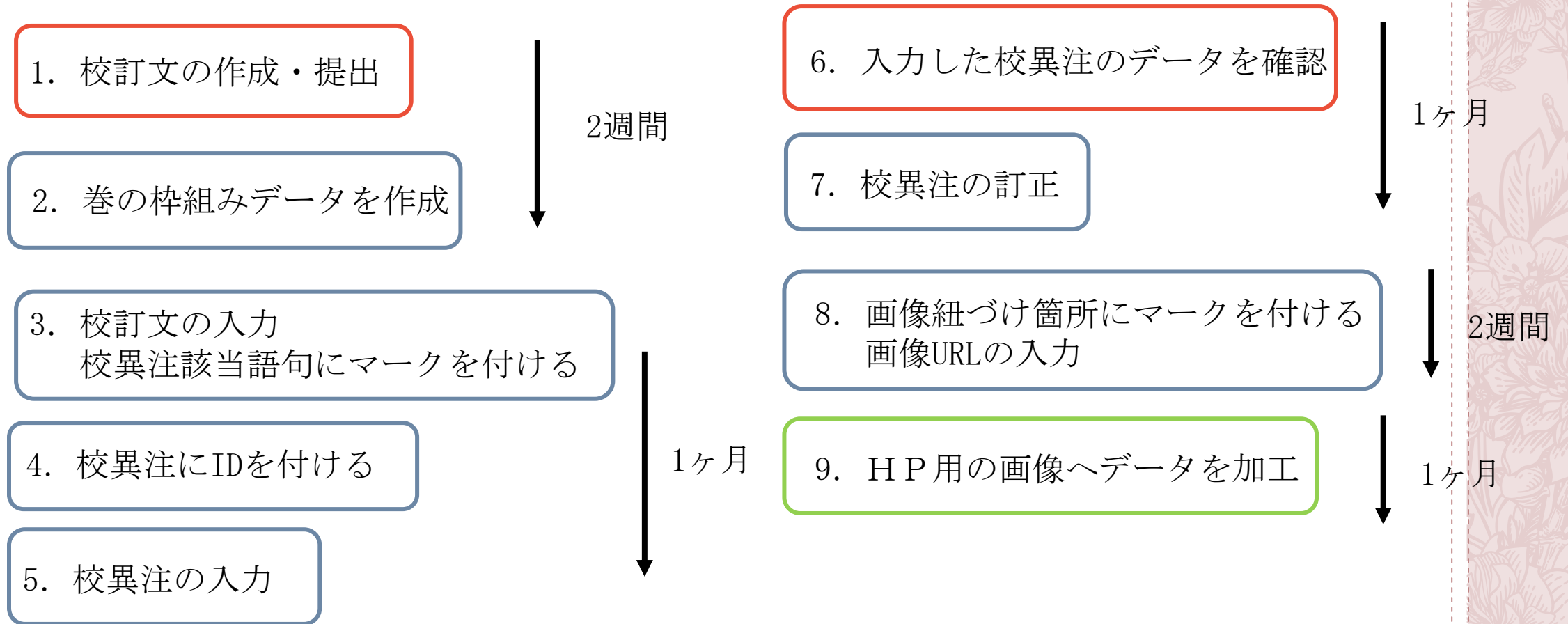


- **TEI (Text Encoding Initiative)** の適用
多様なテキストの構造とメタ情報を、デジタル媒体上で機械可読な形で記述し、特定のハードウェアやソフトウェアに依存せず効率的・効果的に共有することを目指している。



例：巻37（典薬寮） Oxygenを使用してXMLファイルを作成

校訂から「デジタル延喜式」公開までの流れ



校訂担当者（共同研究員）

データ作成班（渡辺・戸村）

人文情報学（共同研究員）

1. 校訂文の作成・提出

MS 明朝 10.5 A^ A^ Aa A ア重 A

標準 行間詰め 見出し 1

編集 アドイン

校異注
(写本間に文字の異同があれば、注記する)

校訂文

12 乳牛条
凡乳牛七頭・犢七頭年料、乾藪四千四百卅四斤、(白¹²³田藪二千
山城国進之、白¹²⁴田藪一千六百二斤、丹¹²⁵波国進之) ↑

123 白 近本・版本「島」。↑
124 白 近本「島田」、版本「島」。↑
125 丹 土本・近本「舟」、梵本「舟」に作り「丹」に訂正書。千
り改める。↑

例：卷37（典薬寮） 提出原稿（word）

2. 巻の枠組みデータを作成

```
295 <p ana="項"  
296     corresp="engishiki_en.xml#item37101101 engishiki_ja.xml#item37101101"  
297     xml:id="item37101101">本文</p>  
298 </div>  
299 <div ana="典薬"  
300     corresp="engishiki_en.xml#article371012 engishiki_ja.xml#article371012"  
301     n="37.12" subtype="項" type="条" xml:id="article371012">  
302     <head ana="乳牛"/>  
303     <p ana="項"  
304         corresp="engishiki_en.xml#item37101201 engishiki_ja.xml#item37101201"  
305         xml:id="item37101201">本文</p>  
306     </div>  
307 <div ana="典薬"  
308     corresp="engishiki_en.xml#article371013 engishiki_ja.xml#article371013"  
309     n="37.13" subtype="項" type="条" xml:id="article371013">  
310     <head ana="造儲御薬料"/>  
311     <p ana="項"  
312         corresp="engishiki_en.xml#item37101301 engishiki_ja.xml#item37101301"  
313         xml:id="item37101301">本文</p>
```

例：巻37（典薬寮）の枠組みデータ

3. 校訂文の入力

```
<div ana="典薬"
  corresp="engishiki_en.xml#article371012 engishiki_ja.xml#article371012"
  n="37.12" subtype="項" type="条" xml:id="article371012">
  <head ana="乳牛"/>
  <p ana="項"
    corresp="engishiki_en.xml#item37101201 engishiki_ja.xml#item37101201"
    xml:id="item37101201">本文</p>
</div>
```

```
<div ana="典薬"
  corresp="engishiki_v37_en.xml#article371012 engishiki_v37_ja.xml#article371012"
  n="37.12" subtype="項" type="条" xml:id="article371012">
  <head ana="乳牛"/>
  <p ana="項"
    corresp="engishiki_v37_en.xml#item37101201 engishiki_v37_ja.xml#item37101201"
    xml:id="item37101201">凡乳牛七頭・犢七頭年料、乾藜四千四百卅四斤、
    <anchor xml:id="app3710120101"/>白<anchor xml:id="app3710120101e"
    />田藜二千三百卅二斤、野藜五百斤、山城国進之、<anchor xml:id="app3710120102"/>白田<anchor
    xml:id="app3710120102e"/>藜一千六百二斤、<anchor xml:id="app3710120103"
    />丹<anchor xml:id="app3710120103e"/>波国進之、> </p>
```

例：卷37（典薬寮） 校訂文（提出データ）を入力

3. 校異注該当語句にマークを付ける

4. 校異注にIDを付ける

```

<div ana="典薬"
  corresp="engishiki_v37_en.xml#article371012 engishiki_v37_ja.xml#article371012"
  n="37.12" subtype="項" type="条" xml:id="article371012">
  <head ana="乳牛"/>
  <p ana="項"
    corresp="engishiki_v37_en.xml#item37101201 engishiki_v37_ja.xml#item37101201"
    xml:id="item37101201">凡乳牛七頭・犢七頭年料、乾葛四千四百卅四斤、
    <anchor xml:id="app3710120101"/>白<anchor xml:id="app3710120101e"
    />田葛二千三百卅二斤、野葛五百斤、山城国進之、<anchor xml:id="app3710120102"/>白田<anchor
    xml:id="app3710120102e"/>葛一千六百二斤、<anchor xml:id="app3710120103"
    />丹<anchor xml:id="app3710120103e"/>波国進之、</p>
  <app from="#app3710120101" to="#app3710120101e">
    <lem wit="#土本 #壬本 #京博本 #梵本 #慶長本">白</lem>
    <rdg wit="#近本 #慶安版本 #明暦版本 #寛文版本 #享保版本">畠</rdg>
  </app>
  <app from="#app3710120102" to="#app3710120102e">
    <lem wit="#土本 #壬本 #京博本 #梵本 #慶長本">白田</lem>
    <rdg wit="#近本">畠田</rdg>
    <rdg wit="#慶安版本 #明暦版本 #寛文版本 #享保版本">畠</rdg>
  </app>

```

校訂対象文字

例：卷37（典薬寮） 校訂注該当語句にマークアップ

5. 校異注の入力

```
<div ana="典薬"
```

```
  corresp="engishiki_v37_en.xml#article371012 engishiki_v37_ja.xml#article371012"
```

```
  n="37.12" subtype="項" type="条" xml:id="article371012">
```

```
  <head ana="乳牛"/>
```

```
  <p ana="項"
```

```
    corresp="engishiki_v37_e
```

```
    xml:id="item37101201">凡
```

```
    xml:id="app371012010
```

```
    />田藟二千三百卅二斤
```

```
    xml:id="app371012010
```

```
    />丹<anchor xml:id="
```

```
<app from="#app3710120101" to="#app3710120101e">
```

```
  <lem wit="#土本 #壬本 #京博本 #梵本 #慶長本">白</lem>
```

```
  <rdg wit="#近本 #慶安版本 #明暦版本 #寛文版本 #享保版本">畠</rdg>
```

```
</app>
```

```
<app from="#app3710120102" to="#app3710120102e">
```

```
  <lem wit="#土本 #壬本 #京博本 #梵本 #慶長本">白田</lem>
```

```
  <rdg wit="#近本">畠田</rdg>
```

```
  <rdg wit="#慶安版本 #明暦版本 #寛文版本 #享保版本">畠</rdg>
```

```
</app>
```

```
    corresp="engishiki_v37_en.xml#item37101201 engishiki_v37_ja.xml#item37101201"
```

```
    xml:id="item37101201">凡乳牛七頭・犢七頭年料、乾藟四千四百卅四斤、
```

```
  <anchor xml:id="app3710120101"/>白<anchor xml:id="app3710120101e"
```

```
  />田藟二千三百卅二斤、野藟五百斤、山城国進之、<anchor xml:id="app3710120102"/>白田<anchor
```

```
  xml:id="app3710120102e"/>藟一千六百二斤、<anchor xml:id="app3710120103"
```

```
  />丹<anchor xml:id="app3710120103e"/>波国進之、</p>
```

```
<app from="#app3710120101" to="#app3710120101e">
```

```
  <lem wit="#土本 #壬本 #京博本 #梵本 #慶長本">白</lem>
```

```
  <rdg wit="#近本 #慶安版本 #明暦版本 #寛文版本 #享保版本">畠</rdg>
```

```
</app>
```

```
<app from="#app3710120102" to="#app3710120102e">
```

```
  <lem wit="#土本 #壬本 #京博本 #梵本 #慶長本">白田</lem>
```

```
  <rdg wit="#近本">畠田</rdg>
```

```
  <rdg wit="#慶安版本 #明暦版本 #寛文版本 #享保版本">畠</rdg>
```

```
</app>
```

```
<app from="#app3710120103" to="#app3710120103e">
```

```
  <lem wit="#壬本 #京博本 #梵本訂正書 #慶長本">丹</lem>
```

```
  <rdg wit="#土本 #近本">舟</rdg>
```

```
  <note>梵本訂正書「丹」</note>
```

```
  <note>丹 土本・近本「舟」、梵本「舟」に作り「丹」に訂正書。壬本・京博本・慶長本により改める。</note>
```

```
</app>
```

ポップアップで表示される

例：卷37（典薬寮） 校異注の入力

デジタル延喜式 Engi shiki Database 検索キーワードを入力

延喜式ファイル 修正履歴 凡例

校訂文

造備御薬料
 胡麻二石、練料、一鼓一斗、
 〈造雑薬料〉、栗二斗、煮湯

【37.12 乳牛】
 (1)
 凡乳牛七頭・犢七頭年料
 千四百卅四斤、白田
 百卅二斤、野藺五百斤、
 之、白田藺一千六百斤、丹波
 国進之、

【37.13 造備御薬料】
 (1)
 造備御薬料
 胡麻二石、練料、一鼓一斗、
 〈造雑薬料〉、栗二斗、煮湯

採
 #壬本 #京博本 #梵本
 用 訂正書 #慶長本
 丹

校
 #土本 #近
 異 本 舟

解
 説 梵本訂正書「丹」

解
 説 丹 土本・近本「舟」、梵本
 「舟」に作り「丹」に訂正書。
 壬本・京博本・慶長本により改
 める。

閉じる

次へ 12 / 48 前へ



H-743-74-37 延喜式 第三七冊 典薬寮

例：卷37（典薬寮） 「デジタル延喜式」での見え方

「デジタル延喜式」の成果と課題

—プロジェクトの完遂に向けて—



「デジタル延喜式」の課題

- 校訂文作成の所要時間：エフォート、質は落とせない
- 校訂・現代語訳・英訳分担者間の合意形成：
分担者は主に若手研究者。条文解釈で議論することがある。
- 作業分担：校訂分担者とTEIデータ作成者が異なる
→校訂分担者はTEIに関する知識を有していない。
暗黙知の言語化が困難。

ご清聴ありがとうございました

国立歴史民俗博物館

<https://www.rekihaku.ac.jp/>

「デジタル延喜式」

<https://khirin-t.rekihaku.ac.jp/englishiki/>

